

令和6年度 百舌鳥・古市古墳群世界遺産協議会 事業報告（2月20日現在）

令和6年度においては、次の通り事業を実施した。

I 協議会の運営

○ 令和6年5月15日 第14回百舌鳥・古市古墳群世界遺産協議会（書面開催）

【議案】

- （1）令和5年度事業報告（案）について
- （2）令和5年度決算（案）について

○ 令和7年3月26日（予定）第15回百舌鳥・古市古墳群世界遺産協議会（書面開催）

【議案】

- （1）令和7年度事業計画・予算（案）について

【報告】

- （1）令和6年度事業報告（2月20日現在）について
- （2）令和6年度決算見込み（2月20日現在）について

II 学術委員会の開催

世界遺産、考古学、都市計画等の専門家からなる委員会を開催し、学術的な見地から資産及びその周辺環境の保存管理と整備活用に関する助言、報告をいただいた。

【開催日】

- 第20回 令和6年 7月18日
- 第21回 同 10月28日
- 第22回 同 12月16日
- 第23回 令和7年 3月11日（予定）

【委員】

- | | |
|----------------|------------------------|
| 和田 晴吾 | 兵庫県立考古博物館 名誉館長 （委員長） |
| 岡田 保良 | 国土舘大学 名誉教授 （副委員長） |
| 稲葉 信子 | 筑波大学 名誉教授、放送大学 客員教授 |
| 西村 幸夫 | 國學院大学 学部長 |
| 福永 伸哉 | 大阪大学大学院 教授 |
| 増田 昇 | 大阪府立大学 名誉教授 |
| 宗田 好史 | 関西国際大学 学部長、京都府立大学 名誉教授 |
| ウェルナー・シュタインハウス | 広島大学 客員准教授 |

【主な議題】

- ・遺産影響評価について
（史跡整備基本計画の遺産影響評価についての検討）
- ・モニタリングについて
（構成資産、緩衝地帯、来訪者への対応に関するモニタリング結果の報告）

III ユネスコへの報告（※英文による）

○ 保存状況についての報告

世界遺産一覧表への記載が決定した第43回世界遺産委員会の登録決議文で示された追加的勧告のうち対応や進展のあったもの、あるいはイコモスからのテクニカルレビューに回答する必要があるものとして、羽曳野市本庁舎建替整備事業にかかる遺産影響評価について、報告文作成を行った。

IV モニタリング2024年（令和6年）年次報告について（別紙のとおり）